

## 紙コップでつくるレンズカメラ

みなさんは、カメラを使ってどうしていろいろな景色がフィルムに写し出されるか知っていますか。レンズを通った光は折れ曲がって集まり、焦点を結びます。このとき、その焦点のところにフィルムがくるように、レンズとフィルムの距離を調整すれば、上下逆さまで、左右が反対の映像がフィルムに写る、これがカメラで写真が写るしくみです。実際のカメラをのぞいて見る景色は、もう一度レンズを使って上下左右正しい向きに写し直しているわけなのです。

紙コップという安価な材料を使って、レンズカメラをつくってみましょう。

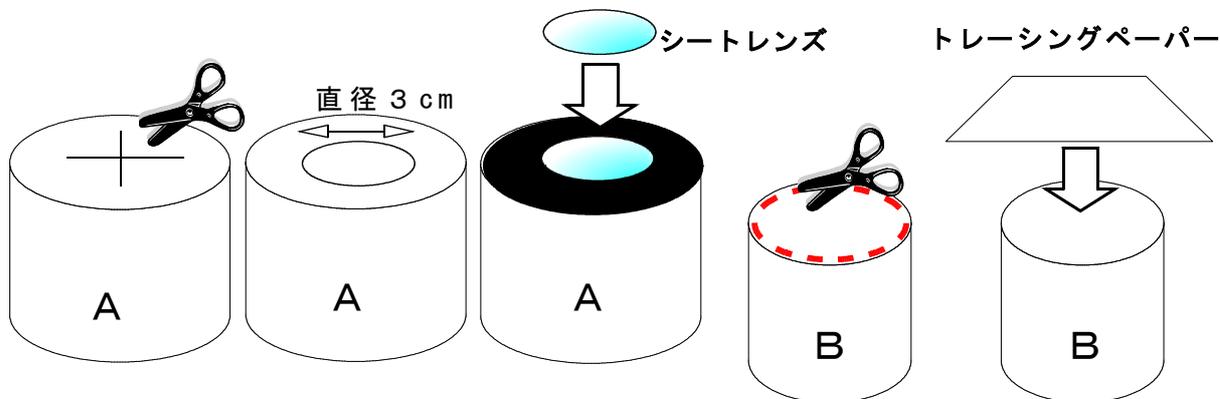
### 材 料

- ・紙コップ 2個
- ・シートレンズ (ケニスD-27T)
- ・トレーシングペーパー
- ・黒色ビニルテープ



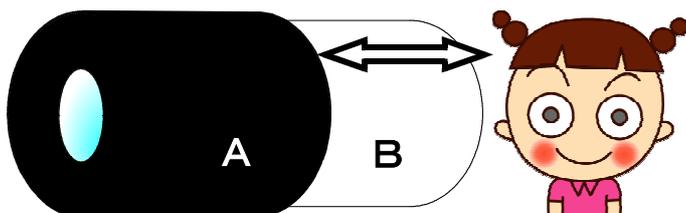
### 作り方

- 1 紙コップAの底に、カッターナイフとはさみをつかって直径2.7cmの穴をあけます。
- 2 穴をあけた紙コップAの底を、黒色サインペンを使って全体的にぬります。
- 3 あけた穴に、シートレンズをセロハンテープを使ってはり付けます。
- 4 紙コップAの側面に、隙間なく黒色ビニルテープを巻き付けます。  
これで紙コップAが完成です！
- 4 紙コップBの底を、カッターナイフとはさみを使って切り取ります。
- 5 紙コップBの底に、トレーシングペーパーをセロハンテープではり付けます。  
これで紙コップBは完成です！



### 取り扱い

紙コップAの中に、紙コップBを重ねて、レンズ越しに外の景色を見てください。そのとき、少しずつ紙コップBを手前にずらして、焦点があうように調節しましょう。見事、トレーシングペーパーに、外の景色が写り込みます。



### 注 意

- ! 室内を暗くして、できるだけ明るい外の景色をのぞいてください。
- ! 紙コップから少し目を離して、トレーシングペーパーをのぞき込むようにしてください。